



### 新企画 ちびっこ消防士

本物の消防士の服を着て、ご満悦のふたり。よく見ると手には放水用のホースまでちゃんと持っている。



**デビュー  
ベイバスターズ**  
ベイタウン初の少年野球チーム。その名も「打瀬ベイバスターズ(Bay Busters)」。部員は現在30数名。今日はユニフォームをそろえて、まつり初登場。



**移動販売  
青少年育成委員会**  
汗をかきかきラムネの移動販売をしてプロムナードを流していた好青年ふたり。勝手にパーベキュー会場近くの青少年育成委員会のお店からラムネの出張販売に来ていた。このまつり半天は育成委員会のシンボル。

## 第6回 ベイタウンまつり



### ご満悦 フェイスペイント

ツールペイントの北村さんは、腕を活かして子どもたちのフェイスペイント。ツールは何にでも色をぬるって本当だったんだ。



### 今年も出店 打瀬中学校1年生

かぶと虫を売る田村君は去年も出店していた。かぶと虫は田舎でとってきたそうだ。売れ残ったのは、仲間2人が売り歩いてた。



### 出番待ち ふたどのミルキートワラズ

メイクも終わり、パレードの出番を待つふたり。同じお化粧をして同じ服を着られるとお父さんも間違えることもあるという。



## まつりの華 模擬店



### 焼きそば屋さん シニアクラブ

こちらの焼きそば屋さんも同じく300食を売り切る。「味のひみつは？」と聞くと「愛情たっぷり」だそうだ。



### 「さっそう」さん

この人じつはベイタウンまつりの実行委員長。この人がいないと毎年のベイタウンまつりは始まらない。今日も、ハンドマイク片手に巡回する。



### 焼きそば屋さん サッカークラブ

このお父さん、いつ行っても焼きそばを焼いていた。外は長蛇の列。休むわけにはいかない。結局用意した400食はすべて売り切れ。

**板東屋  
ベイタウンニュース**  
まつりの定番「板東屋」。名前の由来は本紙記者の板東氏が経営することから。子どもたちにもうすっかり定着したブランドだ。

### 商売上手 ひまわり会

「あなた、いくらなら買う？ 50円でどう？」声をかけられた女の子はよるこんで買って行く。こんな調子でお昼頃にはほとんどの商品を売り切った。



### すてきなママ こどもルーム

11番街前で出店していたこどもルームの模擬店で見つけた。笑顔のすてきなお母さん。ルームの出店は今年が最初だったが、こどもたちの人気に支えられて、400個用意した50円のバナナ・パフェは飛ぶように売れていた。

# ベイトウンまつり百景

もはや『ベイトウンまつり名物』とも言える、模擬店、フリマ、音楽会、子供用自転車リサイクル、ラジコンカーレース、バトントワラーパレード、青空くるまショールームに加えて、今年は盲導犬、丸太切り、ストラックアウト、古本市などのニューカマーが現れた。この中で、盲導犬と丸太切りについて以下に紹介しよう。

昨年10月から身体障害者補助犬法がスタートし、飲食店やスーパーなどいろいろな公共施設で補助犬を受け入れることが法律で認められたのを機に、「日本補助犬協会」のブースが展示され、茨城県から武田さんが盲導犬カーメル(4オメス)と参加した。武田さんは、「街で立ち止まっている視力障害者と盲導犬を見かけたらぜひ声をかけてみてください。実はふたりとも困っていることが多いのです」と言っていた。ただし盲導犬といえども人懐っこいことには変わらないので、声をかけるときは人間のほうに、なでてあげるときはユーザーに一声かけてからにして欲しい。「お仕事」だと困るので、一口に「補助犬」と言うが、目の不自由な方の歩行を手助けする「盲導犬」、身体の不自由な方の生活動作を手助けする「介助犬」、耳の不自由な方に音を知らせる「聴導犬」の3つの仕事をする犬の総称だ。日本補助犬協会の資料によると、日本には盲導犬が約900頭、介助犬、聴導犬がそれぞれ20頭前後活動しているそうだが、盲導犬の希望者が約8千名近くいることを考えるといかに数が足りないかが分かる。

11番街前で行われた丸太切りコーナーは、ベイトウンの緑化に努めるボランティア団体である『グリーンサム』が「エントの庭づくり(打瀬第一緑地リニューアル)」のキャンペーンを兼ねて催した。丸太は工事現場の杭として使われていたものを譲り受けた。まつり当日は、70人(手伝った人を入れると約140人)が慣れないノコギリを手に丸太切りに挑戦。子どもの手助けをしながら汗を流すお父さんの姿が印象的だった。主催者のグリーンサムによると、「エッ、無料なの?」「ただで丸太を切ってもいいの?」という子どもたちが多かったという。確かにベイトウンまつりはフリマ、模擬店などにかとお金がかかり、おごづかいを何に使うか頭を悩ませる子どもたちも多い(それがまた楽しいのだが)。

そういう意味では、この企画は、25日に行われた「エントの庭オープニングワークショップ」のPRを主な目的にすえながら、無料で普段経験する機会の少ない丸太切りに親子で挑戦でき、おまけに切った直径12センチの杉の丸太は緑地の柵に使われるという一挙両得ならぬ、三得、四得。当日丸太切りを指導したメンバー、準備に携わった人たちの労力に負うものが大きい、子どもリサイクル自転車や古本市、盲導犬のデモンストレーションと並ぶ、ベイトウンまつりらしい企画ではないだろうか。

今年も、ベイトウンニュース恒例の駄菓子屋『板東屋』として祭りに参加しました。今年は、「原点復帰」を合言葉に、輪投げはやらず、駄菓子屋に専念しました。結果、200円程度の黒字と、商売上手(?)ぶりを発揮できました。子どもたちが、うれしそうに駄菓子を買って行ってくれることが、私たちへの何よりの報酬でした。多くのご来店ありがとうございました。【編集部一同】

▶人・人・人。プロムナードは好天も手伝って、人であふれ返った。写真は子どもたちの、子どもによる、子どものためのフリマ。かなりの小遣い稼ぎになったようだ。小さな商売人たちは、早々に完売し、売り上げを握りしめ、模擬店へと散っていった。



▲恒例の子どもサイクリリサイクル。出展される自転車の数は年々増え続け、今年は65台にも上った。このイベントのおかげで、ベイトウンにリサイクルの精神がしっかり根付いている。

▼今年初登場の古本市。52名の篤志家から寄せられたダンボール20箱にもおよぶ古本、CDなどが格安で販売された。収益は、コアのピアノ購入資金として充当される。ここにもリサイクルの精神が。



▼こちらも初登場、ベイトウンの少年野球チーム『ベイバスターズ』による、ストラックアウト。ベイトウンニュースでの募集効果もあり、すでに37人もの野球少年たちが集まった。



▲▶日本補助犬協会による盲導犬の説明イベント。理解と寄付(グッズ販売による)が寄せられた。(左記事参照)



▲▶グリーンサムによる、丸太切りイベント(左記事参照)



## Bay Town CORE イベントカレンダー

### フアツィオリを弾く会

日時：6月22日(日) 9:30～11:30  
子どもたちの他に高校生と大人の男性の演奏もあります。

日時：7月27日(日)  
出場者申し込み受付中です。お気軽にどうぞ!!  
問い合わせ：大垣 (tel:276-3878)

### サマ-コンサート

(第3回ベイトウン音楽発表会)  
7月26日(土)  
問い合わせ：大垣 (tel:276-3878)

### 『あらしのよるに』

わくわくお話し会 公演  
木村裕一 作  
(日本図書館協会選定図書)  
日時：7月12日土曜日 午前中  
作者ホームページ：

<http://www1.odn.ne.jp/kimura-yuichi>

こちらを見ていただくと、各地の学校でこの作品が公演企画されていることがわかります。

### 松本和将ピアノリサイタル

1998年、日本音楽コンクール・ピアノ部門で第1位に輝いた若き天才ピアニスト松本和将さんが、ベイトウン・コア音楽ホールに来演します。数々のコンクールで入賞し、将来の活躍が確実視される俊英です。その破格の演奏は音楽ファンに新鮮な衝撃を与えるでしょう。

日時：6月28日(土) 開場 1:30、開演 2:00、終演後、サイン会を予定。

場所：コア 音楽ホール  
プログラム：J.S. バッハ コラール：「来たれ異教徒の救い主よ」、「主よ人の望みの喜びよ」(ブゾーニ編)、フランク「コラールとフーガ」、ベートーベン「ピアノソナタ No.23 熱情」

主催：コミュニティコア研究会  
入場料：全自由席、一般1800円(当日券2000円)、高校生以下1000円(当日券1200円)。  
親子ペア(一般と学生)券2500円(当日券はありません) = 未就学児童は入場できません。

### 打瀬健康講座

「成長期の子どもの体づくり」  
成長期の子どもとスポーツについての注意点

とストレッチの指導

日時：平成15年7月5日(土)

午後2:00～3:30

場所：打瀬公民館 ホール

講師：和田佑一氏(千葉大学整形外科医師、日本オリンピック委員会強化委員)

受講料：無料

申し込み：直接会場においでください。

問い合わせ：打瀬公民館 (TEL:296-5100)

去る5/18(日)16:30よりパティオス17番街1階のギャラリー KIKIで「KIKI ワイン・コンサート」が開かれた。出演は、芸大を卒業した若手のバイオリンのデュオ、赤池美礼さんと榎本さとみさん。観客はワインを飲みながら、ロマンティックな夕べを楽しんだ。



## ベイタウンのオーケストラ コアに響く

音と音が重なって、ハーモニーが生まれる瞬間の心地よさに惹かれ、人はしばしば、アンサンブルしようとして、バンドを組んだり、コーラスをしたりする。そうしたアンサンブルの集大成ともいえるのがオーケストラ(以下オケ)ではないだろうか。

石川智久さん夫妻がマクハリベイトウンオーケストラを創設した経緯は、昨年5月のベイタウンニュースで既に触れられているが、これといったつてのないベイタウンで一からオケを作るのは大変なことだったと思う。2002年初頭、オケ発足の打ち合わせに行ってみると、集まっている人の楽器のバランスは悪く、オケ経験者も少なかった。何より、石川家は双子の出産を控えていた。双子出産直後の混沌は想像するに余りあり、正直言って、夫妻のオケをやりたいという気持ちだけでオケが成り立つとは思えなかった。

しかし、石川さんの思いは筆者の危惧を上回る強靱さを持っていた。3月末に練習を開始したベイタウンオケは、初めは曲を最後まで通すこともできず、常に何かの楽器が欠けた状態で、細々と練習を続けていく中徐々にモチベーションを上げていき、9月29日の第1回演奏会では、会場に不思議な熱気と感動をもたらす演奏を行うことができたと思う。

そして、この5月18日、無事、第2回演奏会を開催。曲目はベートーヴェン：「エグモント」序曲、シベリウス：交響詩「フィ

ンランディア」、ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界から」。第1回演奏会に参加したメンバーも、受験や用事等で不参加になり目減りしている感があり、練習を開始しても、なかなか曲としてのまとまりができてこなかった。団員はみな、どのような思いでこのオケに参加しているのだろう、と自戒も込めて考え続けた。前回同様、演奏会が近づくにつれ、参加者が増え、音にまとまりができてきて、無事演奏会を終えることができた。演奏は好評だったようで、拍手のなかアンコールまで演奏したが、演奏会が終わって思うのは、このオケは、どこを、何を目指していくんだろう、ということだ。

石川さんの情熱だけがオケを引っ張っていく時期はもう過ぎている。ベイタウンオケに参加する一人一人のメンバーが、ここで、自分の最善を尽くせるか、今

後のベイタウンオケの真価はそこにかかっているように思えてならない。

第3回演奏会は11月9日(日)、ブラームスの交響曲第4番等を演奏する予定である。自分の中のアンサンブルしたいという思いをきちんと見つめて演奏することで、ベイタウンオケもまた素晴らしいオケになっていくのではないかと思う。まだまだ人数の足りないパートが沢山あるので、オケに興味のある方は、石川 (tomohisa0109@gpe-net.org) までお問い合わせ下さい。

【河野：ベイタウンオーケストラ】



第二回演奏会に向けリハーサルをするマクハリベイトウンオーケストラ。指揮は石川さん(5/17 ベイトウンコア音楽ホールにて。撮影：松村)

# B - I n f o r m a t i o n

## ベイタウンで京劇が体験できる！

メンバー募集！～まくはり京劇クラブ  
京劇の役者であり、来日以来京劇の普及に努める魯大鳴（ルー・ダーミン）氏を迎えて、まくはり京劇クラブでは楽しく京劇の練習に取り組んでいます。参加者は20代から50代の全員初心者。慣れない立ち回りに汗を流しながらも、からだを動かす面白さや中国文化への興味はふくらむいっぽう。現在、メンバーを募集中です。お気軽に練習をのぞきにきてください。

練習日・場所については：渡辺賢司 (kj.wtnb@aa.bb-east.ne.jp) までお問い合わせください。

## グリーンサムが植樹祭

5/25（日）にベイタウングリーンサム主催による、「エントの庭オープニングワークショップ（植樹祭）」が打瀬第一緑地で行われた。花壇の土づくり、柵づくり、苗の掘り起こしなどの作業の後、実生から育てたネムノキ、ムクゲ、オオシマザクラなど樹木の幼苗をはじめ、花の苗が植えられた。シンボルツリーのオリーブの木が植えられてその日の作業は終了したが、これからは緑の番人たちによる「エントの庭」づくりは続く。【佐藤】



## 都市公団の賃貸住宅

海はすぐ目の前、ゆとりの1K50m<sup>2</sup>～4LDK+S115m<sup>2</sup>。

ミラマール（第2次・最終）入居者募集

5月31日（土）から6月15日（日）まで

今回入居者を募集するミラマール3番館は、海とベイタウンを見晴らす14階建て147戸。募集期間中は一部の住戸をモデルルームとして公開いたします。皆様是非ご来場下さい。

現地モデルルーム／午前10時～午後5時

但し、6月7日（土）は最上階14階3戸（W・T・V）タイプに限り、午後7時30分まで公開いたします。

現地案内所／TEL.043-296-8071（3番館110・112号室）

モデルルーム公開期間中は、来場者用駐車場を用意しておりますが、台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

所在地／千葉県千葉市美浜区打瀬三丁目6番1

住居表示／千葉県千葉市美浜区打瀬三丁目6番ミラマール3番館〇〇〇〇号室

交通／京葉線「海浜幕張」徒歩16分

募集戸数（建設戸数）／147戸

住宅型式／1K～4LDK+S

住宅専用部分面積／50.78m<sup>2</sup>（12戸）～115.65m<sup>2</sup>（1戸）

■建物構造／鉄筋コンクリート造14階建（1部10階建）

主な設備／LDに床暖房・浴室換気乾燥機・各居室にインターネット配線・オートドアロック等

家賃／103,500円～240,000円

共役費／6,500円（全戸共通）

■敷金／月額家賃の3ヵ月相当額

■礼金・更新料・保証人／不要

■駐車場／100%分設置

■申込方法／募集期間中現地案内所・郵送（公団所定用紙にて）・インターネットでお申込下さい。

入居者の決定方法／抽選による

（抽選後、入居資格確認有り）

入居予定時期／平成15年8月

15日（金）[奇数階]・22日

（金）[偶数階]

都市基盤整備公団 首都圏募集販売本部 住宅募集第三課

東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿

アイランドタワー16階

TEL.03-3347-4250



## 都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは

総合募集センター津田沼案内所

TEL：047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは

日本総合住生活（株）千葉支店



■我が1番街の話でお恥ずかしい限りだが、先日当番街の資源ゴミ収集場を見て、暗澹たる気持ちになった。雑誌・段ボールなどが縛りもせず、かなり乱雑に積み上げている。中には、子ども用のおもちゃ（ガンダムの模型や、リカちゃん人形）の空き箱が、解体すらされずに放り投げられていた。平気でこんなことをする親に育てられた子どもたちがどうなるかを思い、行く末を憂いてしまった。

板東司（#1-210/T&F211-0289/tbando@dp.unetsurf.ne.jp）

■ベイタウン祭りのフィナーレを飾る花火を寒さも忘れ見とれていた。が、今のベイタウンの開発のスピードでは安全な距離の確保面から来年度以降の実施は危ういかもかもしれない。空き地があるゆえのイベントだが、やはりなくなってしまうのはさびしい。そういえば毎年打瀬小学校の5年生が育てていた空き地を利用する菜園も今年からは取りやめになっている。開発の進捗は身近なところに影響がある。

金一剛（#3-220/T&F211-0388/ikkim@cc.emansion.com）

■今年もウタスポでは地域主催種目が行われた。打瀬小学校からの「地域企画の種目を」の呼びかけに手を挙げたのは約40人。児童の保護者の他に、子どもがすでに小学校を卒業した「元父兄」やシニアの方々、中には学区外からの参加も多かった。みなさん地域運動会として始められたウタスポの伝統をなんとか守りたいという方々だった。週末にコアで打ち合わせを行い。直前一週間は準備の確認に毎日ほぼ50通以上のメールを交換して準備した。競技の名前は「ウタスポとるね〜ど」。まさに嵐のように終わったプロジェクトだったが、改めてベイタウン「らしさ」を感じる一週間だった。ベイタウンまつりが終わり、ウタスポが終わればベイタウンに夏が来る。

松村守康（#10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp）

# ニューカマーの見たベイタウンまつり

主役は住民、手づくりのベイタウン祭に参加して

今年で第6回になる「ベイタウンまつり」。住民にはすでに馴染みの「自分たちで作り、自分たちで楽しむ」まつりスタイルだが、ベイタウンに越してきたばかりの人の目にはどう見えるのだろうか。こんな疑問からこの記事が企画された。記事を引き受けてくださったのは、この3月にマリフォートに入居したばかりの奥貞さん(文)と草原さん(写真)。ニューカマーにはベイタウンまつりはどう見えたのだろう。

今年のベイタウンまつりは7年目だが、住民主体の祭の分だけを数えて、今年の祭を第6回とすると聞いて、なぜ住民主体にこだわるのか、回数は一つでも多いほうが良いのではと不思議に思った。でも、ベイタウン祭に初めて参加して、住民主体にこだわることの意義が見えたように思った。

新参者の私を快く受け入れてくれたベイタウン・シニアクラブが来店する焼そば屋さんを手伝う事になった。祭の当日、昼前には予



想通り焼そばを待つ客の行列ができ、その行列の中に野球少年がいた。焼そば係のおばさんが少年に「何とか君は野球をやったんだ。」と親しげに話しかけた。少年は注文を受取って、お金を払うと、売子のおばさんが「ありがとう。」と言う前に、帽子を取って「ありがとうございました。」と頭を下げて走って行った。おばさんがたのもしそうに「あの子大きくなったねえ・・・」と、私はその時、そうかこの触れ合いが7回でなく6回にこだわる理由なのだと感じた。

焼そば屋の手伝いをサボって通りに出てみた。プロムナードは町の人で溢れていた。模擬店に限らず、中年バンドも、パレードのバトントワラーズも、交通整理も、プロの様にうまくはないのかも知れないけれど、世代を超えた街の人達による手づくりの祭が繰り広げられていた。そこにはこの街に住んで初めて実感できる、街の人達の手で創りあげられた祭のかっこ良さがあった。誰もがお互いに知り合い家族同士のように見えた。ここに引っ越して来てずっと感じていた事の

一つに子供の多さ、と同時にその子供達の元気の良さ、人懐っこさ、そして礼儀正しさがある。昨今、子供達と接して気持ちが良いという事は少なくなったと言われるが、この街の子は違う。祭の他にも折々に行われる街の行事が、大人と子供の距離を近づけているからだろうと思った。



ベイタウンの人達は この街に誇りを持っている。この街の事を実によく知っている。この街を良くしようと思っているし良くなると思込んでいる。この街の発展に役立とうと思込んでいる。ここが誰のものでもない自分達の街であるとの意識をしっかりと持っている。

シニアクラブの焼そば屋さん和祭の後の片付けを通じて知った活気に溢れた街の人達の行動力と住民自身が祭を楽しむ事によって表現される祭への参加の姿勢は、私にはとつても新鮮に映り、この街へ仲間入りできる喜びを実感した一日であった。【奥貞】

こども・まち・がっこう シリーズ Vol.13

## 寺子屋工作ランド 週休二日の子どもの居場所

公立の学校で週休二日制が実施されて1年がすぎた。学力が低下するのではないかなど問題点も指摘されているが、休日に時間のできた子どもたちが外に出てくることで、休日の街に活気がでてきたことは確かだ。「こども・まち・がっこう」シリーズ今回は地域の大人と子どもと一緒に活動できる場を、とコアで活動する「寺子屋工作ランド」を紹介した。

「ヨーイ スタート」ストップウォッチを片手に持った鎌田さんの合図で、子どもたちは一斉に手作りの「紙コマ」を回し始める。「10秒・・・、20秒・・・」。30秒もすると大半の紙コマは倒れてしまう。そんな中で3年生の内山君の作ったコマだけは順調に回り続けた。「40秒・・・、45秒」全員の目内山君のコマに釘付けになる。「50秒!」。2位の38秒を大きく引き離しての勝利だった。これは昨年11月に行われた工作ランドでのこと。この日コア工芸室に集まったのは幼稚園から小学校5年生までの40人ほどの子どもたち。内山君の50秒は並み居る高学年の強豪を下して堂々の記録だった。

紙コマ作りは簡単な工作だ。工作用紙を直径5cmに切り、何枚か重ねて貼り合わせて、中心に竹串をさしただけでできる。だが長時間回り続けるコマをつくるには、精度のよい工作やバランス調整が必要だ。とくにノリが乾ききらないうちに次のステップに進むと、完成時のバランスが悪くすぐに倒れてしまう。だが、子どもたちにはこの「待つ」ということがなかなかできない。

自分一人でコマを作ると、うまく回らないとすぐに飽きてしまう。しかし何人もで作り一緒に回して競争すると、子どもたちは負けた悔しさからか、よく回るコマを真剣に観察し、自分のコマのどこが悪いのかを懸命に考える。紙コマという簡単な教材も、うまく使えば子どもたちの「工夫」をうまく引き出せる。この日の工作は子どもたちと同時に、見ていた保護者にも強い印象を与えた。

「工作ランド」は毎月1回第4土曜日に、コアの工芸室で行われている。集まる子ども



たちは、多いときでは80人、逆に少ないときは10人ということもあるが、毎回平均すると40人ほど。主として高学年の工作を小畑さん(10番街)、低学年の工作を鎌田さん(4番街)が行っている。これまでにに行った工作は、「紙ヒコーキ」、「スーパー竹トンボ」、「ヤジロベエ」、「紙鉄砲」、「段ボールイスづくり」とびだすおもちゃなど。1年間続けたことで、毎回欠かさずに来るといふ熱心な「固定客」も育ってきた。

「工作ランド」は昨年3月、学校週休二日制で休日が増えた子どもたちに地域の大人が「講座」を開こうと寺子屋ベイタウンの主催で始められた。現在は工作ランドの他に、「ベイタウン・ジュニアタイムズ」、「手芸教室」、「実験ラボ」と4つの講座が定期的に開かれている。開始から1年、「寺子屋」という名称も子どもたちには馴染みのものになってきた。【松村】



# 幕張ベイタウン矯正歯科

七月一日、おかげさまで開院一周年を迎えます。  
これからも、皆さまの歯の健康づくりのお役に立  
てるよう、日々向上&努力いたします。



「自分たちがやりたいと思っていたことができ、1年間楽しく過ごせました。中学生職業体験をお手伝いできたのもよかったです」(憲弘先生談)  
「ここは熱心なお母さんたちが多くて、矯正に理解のある方たちにお会いできうれしく思っています」(明子先生談)

## 矯正はいつ始めればいいのか？

永久歯がはえ揃う中学生以降に歯並びをキレイに整えることは可能です。しかし、最近は顎が小さく歯が並びきれないお子さんが増えてきています。

顎の成長の旺盛な小学生の時期に、矯正治療で顎の幅を拡げてあげ、健康な歯を抜かずに歯並びを改善できるケースも多くあります。歯並びや噛み合わせが気になるお子さんは、前歯が永久歯にはえかわる頃までに、一度診察を受けることをおすすめします。お気軽にご相談ください。



◆顎の成長をコントロールする矯正治療は、上顎・下顎が出ている、逆に上顎・下顎が後退しているといった顎の形の改善にもつながります。写真は矯正治療により、上顎の突出ならびに下顎の後退が改善されたケース。

## 大人になってからでは矯正治療は無理ですか？

年齢に関係なく、歯並び・噛み合わせは改善できます。また、歯並びが悪くて機能していない歯を正常な位置に移動させて利用するといった方法もあります。

歯並び・噛み合わせを改善することは、見た目ばかりではなく、虫歯・歯周病予防にもなり、バランスよく、しっかり噛めることで全身的な健康にもつながります。

装置が見えない裏側からの治療法もあるので、あきらめずにご相談ください。

◆ちょっとわかりにくいのですが、公園西の街のメッセ大通り側です。格好いい外国車が並ぶショップの隣り。



〒 261-0013

千葉市美浜区打瀬 2-1-2  
グランパティオス公園西の街  
4 番館 1F

お問合せ：043-213-6822

休診日：火および祝祭日